

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
精神看護学演習Ⅱ(精神科治療技法)	1	後期	2	演習 60時間
担当教員	田中美恵子、中島洋一、松谷典洋、小石川比良来、岡田佳詠、横山恵子、小山達也、田中友康、藤原雅司			
授業概要	精神科薬物治療について学び、精神科薬物療法の効果をアセスメントし、看護援助につながる能力を養う。さらに精神療法、心理教育・家族心理教育、認知行動療法など精神看護における教育治療的介入技法について演習を通して学習する。加えて、アディクション看護、自殺予防、精神科ターミナル、トラウマインフォームドケア、オープンダイアログなど、精神看護の多様な実践技法を学び、専門看護師の役割・機能に統合する方法について探求する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科薬物治療の基礎理論について学び、その効果をアセスメントできる能力を養う。 2. 外来診断面接見学とディスカッションを通して、医師による診断と処方 of 理論的根拠を理解する。 3. 心理教育、家族心理教育、認知行動療法の理論を学び、実践に応用するための基礎を培う。 4. アディクション看護、自殺予防、精神科ターミナル、トラウマインフォームドケア、オープンダイアログ、精神看護の多様な実践における介入方法について学ぶ。 			
履修条件	精神看護学特論Ⅰ、Ⅱを履修済みのこと			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1-2	精神科薬物治療論概論：精神科薬物療法の基礎について、その歴史、薬の種類、主要な薬の機序、作用・副作用等について学ぶ。	小石川	
	3-6	外来診断面接見学実習：医師の外来診断面接に見学参加し、診断と処方の実際、その理論的根拠について学ぶ。	小石川	
	7-8	個人精神療法・集団精神療法：個人精神療法、集団精神療法の理論と実際について、演習を通して学ぶ。	田中	
	9-10	身体疾患治療薬と精神症状：身体疾患治療薬と精神症状の関係について学ぶ。	松谷	
	11-12	服薬心理教育：服薬心理教育の理論と実際	松谷	
	13-15	家族心理教育と家族ケア：家族心理教育の理論と技法、家族ケアの基本について学ぶ。	横山	
	16-18	認知行動療法：認知行動療法の理論と実際について学ぶ。	岡田	
	19-21	アディクション看護：アディクション看護の理論と実際、治療的介入技法について学ぶ。	中島	
	22-24	自殺予防：自殺の現状、各種施策、自殺予防のための理論・技法について学ぶ。	小山	
	25-26	精神科ターミナル：精神科におけるターミナルケアの基本的概念とケアについて学ぶ。	松谷	
	27-28	トラウマインフォームドケアの理論を学び、臨床への応用について探求する。	田中	
29-30	オープンダイアログの理論と技法を学び、臨床に応用する方法について探求する。	藤原		
教科書	特に指定せず。			
参考書	適宜紹介			
評価方法・基準	講義および討議への参加度30%、レポート70%とし、総合的に評価する。			
事前・事後学習	事前に示した資料を読んでおく(1時間程度)。事後には疑問点を整理し、文献を通してさらに理解を深める(2時間程度)。			
備考	特になし			